

認定権者記載欄		

様式 5 - (ハ) - ②

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書（ハ－②）		
令和 年 月 日		
佐伯市長 富 高 国 子 様		
申請者 住 所 _____		
氏 名 _____		
私は表に記載する業を営んでいるが、下記のとおり _____【注2】の増加が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いします。		
(表)		

※表には営んでいる事業のうち指定業種に属するもの(日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名)を全て記載。当該業種が複数ある場合には、その中で、最近1年間で最も売上高等が大きい事業が属する業種を左上の太枠に記載。

記

1 事業開始年月日 _____ 年 月 日

2 月平均売上高営業利益率

$\frac{B-A}{B} \times 100$

指定業種の減少率 _____ %

全体の減少率 _____ %

最近3か月間における全体の売上高等に占める指定業種の売上高等の割合 _____ %

A : 申込時点における最近3か月間の月平均売上高営業利益率
(令和 年 月～令和 年 月)

指定業種の月平均売上高営業利益率 _____ %

全体の月平均売上高営業利益率 _____ %

B : Aの期間に対応する前年3か月間の月平均売上高営業利益率
(令和 年 月～令和 年 月)

指定業種の月平均売上高営業利益率 _____ %

全体の月平均売上高営業利益率 _____ %

第 一 一 号

令和 年 月 日

申請のとおり相違ないことを認定します。

(注) 信用保証協会への申込期間

令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

佐伯市長 富 高 国 子

【注 1】本様式は、指定業種と非指定業種を兼業している場合であって、全体の売上高等に占める指定業種の売上高等の割合、指定業種及び申請者全体双方の月平均売上高営業利益率が認定基準を満たす場合に使用する。

【注 2】 _____ 【注 2】には、外的要因及び増加している費用を入れる。

(留意事項)

- ① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。
- ② 市町村長又は特別区長から認定を受けた日から 30 日以内に金融機関又は信用保証協会に対して、保証の申込みを行うことが必要です。

(表 1 : 事業が属する業種毎の最近 1 年間の売上高)

業種 (※ 1)	最近 1 年間の売上高	構成比
	円	%
	円	%
	円	%
	円	%
企業全体の売上高	円	100%

※ 1 : 業種欄には日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名を記載。

(表 2 : 最近 3 か月間の指定業種の営業利益及び売上高)

月	営業利益【a】	売上高【b】
令和 年 月	円	円
令和 年 月	円	円
令和 年 月	円	円
合計	円	円

【注】 個人事業主の場合 : 営業利益 = 売上 - 売上原価 - 経費、売上高 = 売上

(表 3 : 最近 3 か月間の指定業種の月平均売上高営業利益率【A】①)

$$\frac{\text{【a】}}{\text{【b】}} = \frac{\text{円}}{\text{円}} = \text{\%}$$

(表 4 : 最近 3 か月間の全体の営業利益及び売上高)

月	営業利益【c】	売上高【d】
令和 年 月	円	円
令和 年 月	円	円
令和 年 月	円	円
合計	円	円

【注】 個人事業主の場合 : 営業利益 = 売上 - 売上原価 - 経費、売上高 = 売上

(表 5 : 最近 3 か月間の全体の月平均売上高営業利益率【A】②)

$$\frac{\text{【c】}}{\text{【d】}} = \frac{\text{円}}{\text{円}} = \text{\%}$$

(表 6 : A の期間の前年同期の指定業種の営業利益及び売上高)

月	営業利益【e】	売上高【f】
令和 年 月	円	円
令和 年 月	円	円
令和 年 月	円	円
合計	円	円

【注】 個人事業主の場合：営業利益＝売上－売上原価－経費、売上高＝売上

(表 7 : A の期間の前年同期の指定業種の月平均売上高営業利益率【B】①)

$$\frac{\text{【e】}}{\text{【f】}} = \frac{\text{円}}{\text{円}} = \text{\%}$$

(表 8 : A の期間の前年同期の全体の営業利益及び売上高)

月	営業利益【g】	売上高【h】
令和 年 月	円	円
令和 年 月	円	円
令和 年 月	円	円
合計	円	円

【注】 個人事業主の場合：営業利益＝売上－売上原価－経費、売上高＝売上

(表 9 : A の期間の前年同期の全体の月平均売上高営業利益率【B】②)

$$\frac{\text{【g】}}{\text{【h】}} = \frac{\text{円}}{\text{円}} = \text{\%}$$

(指定業種に係る月平均売上高営業利益率の減少率)

$$\frac{\text{【B】①} \% - \text{【A】①} \%}{\text{【B】①} \%} \times 100 = \quad \%$$

(全体に係る月平均売上高営業利益率の減少率)

$$\frac{\text{【B】②} \% - \text{【A】②} \%}{\text{【B】②} \%} \times 100 = \quad \%$$

(最近3か月間における全体の売上高等に占める指定業種の売上高等の割合)

$$\frac{\text{【b】} \text{円}}{\text{【d】} \text{円}} \times 100 = \quad \%$$

上記のとおり相違ありません。

申請者の名称及び代表者名

金融機関・税理士等

印

印

※なお、金融機関・税理士等の署名捺印がない場合には、各月売上高を確認できる資料（試算表、売上台帳等）が必要となります。